

## 大学院社会福祉学研究科修士課程

### 1. はじめに

社会福祉学研究科修士課程は、学部における一般的ならびに専門的教養の基礎のうえにさらに広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業などに必要な高度の能力を養うことを目的として設置されたものです。専攻は社会福祉学であり、社会福祉学領域と臨床心理学領域で構成されています。

また、臨床心理学領域には公認心理師養成に係る課程が設置されています。

### 2. 研究室・自習室

研究室および自習室は直心館に設置されています。使用時間は午前9時から午後9時10分までです。鍵は栽松館1階受付にて貸出します。

### 3. 諸手続

履修登録の他に、指導教員連絡票などを所定の期間内に提出してください。

なお、必要な連絡は、UNIPAにて行います。

### 4. 教員免許状

課程を修了した者には、教育職員免許法の定めるところにより、下記の免許を取得することができます。なお、これらは学部において教員免許を取得済の者に限られます。

なお、臨床心理学領域での専修免許状取得はできませんので、注意してください。

社会福祉学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社 会 公 民
---------	---------------------------	------------

(注) 免許状取得に係る科目として取り扱わない科目があります。「社会福祉学研究科履修規程」を参照してください。専修免許状取得希望者は教務課までお問い合わせください。

### 5. 修士論文（2回生以上）

#### (1) 修士論文に関する日程（予定）

題目提出	5月下旬
題目変更	12月初旬
論文仮提出	12月中旬
論文および審査願書提出締切	1月中旬
口述試問	2月初旬

#### (2) 様式

論文の仮提出は1部、本提出は正本1部、副本2部を同時に提出してください。本提出時には「学位審査願」（教務課にて交付）も必要です。執筆要項は後掲のとおりですが、詳細は専攻主任に照会してください。

## 6. 学部科目等履修

学部科目等の履修は年間20単位まで可能です。ただし、科目によっては履修できない場合があります。

履修手続きは「学部科目履修願書」（教務課で希望者に配付）を所定の期日までに教務課へ提出してください。許可された科目は教務課で追加登録を行います。

なお、前出の願書の提出がない場合は無効となりますので注意してください。

## 7. 前期修了制度

2ヶ年以上在学した者については、前期で修了できる制度があります。教務課で照会してください。

## 8. 学費の減免

3回生以上については、学費の減免措置を受けられる場合があります。

詳しくは大学院学則第36条および同附則を参照してください。

## 9. 実習費について

臨床心理学領域の学生は、以下の科目について実習費が必要です。金額、納入方法等は、「履修登録の手引き」を参照してください。

2回生	心理実践実習Ⅷ
-----	---------

## 修士論文執筆要項

1. 論文は、原則としてワープロまたはパソコンで作成する。

2. 体裁

(1) 表紙記載事項

- ・ 20〇〇（令和△）年度 修士論文
- ・ 論文題目
- ・ 花園大学大学院 社会福祉学研究科修士課程 社会福祉学専攻〇〇領域
- ・ 学生証番号 氏名

(2) 提出様式

クリップ止めし、表紙記載事項を記載した封筒に入れ、開封のまま提出すること（クリップはダブルクリップなどしっかり留まるものに限る。ゼムクリップ不可）。

(3) 要旨（社会福祉学領域のみ）

本提出の際に、論文題目、氏名を記載した要旨1枚（1400字～1600字程度）を提出のこと。

3. 内容

(1) 論文の題目（表紙） (2) 目次 (3) 本文 (4) 文献

4. 本文の枚数は、縦置きA4版用紙に横書きで、1行40字・1頁30行（1200字分）、30枚以上（31枚目にかかること）とする。上左右の余白は2.5cm、下の余白は3cmとする。ただし、目次、文献は本文に含まれない。

5. 文献の表記については、社会福祉学領域と臨床心理学領域において様式が異なるので、各指導教員の指示に従ってください。

## 社会福祉学専攻（社会福祉学領域）（修士課程）

## 修了所要単位

社会福祉学専攻社会福祉学領域	必修	選択	合計
	4単位	28単位	32単位

左記32単位の他に修士論文を作成しなければならない

## 修了所要科目一覧

科目名	単位	講義形態	履修区分			履修年次		ナンバリング	履修条件および履修上の注意
			必修	選択必修	選択	1	2		
社会福祉学演習	2	演習	◎			◆		811001115	
社会福祉学研究指導I	2	演習	◎				◆	811002116	
社会福祉学特論	2	講義			△	◆	◇	812014105	この中から28単位選択
社会福祉思想史特論	2	講義			△	◆	◇	812015105	
高齢者福祉特論	4	講義			△	◆	◇	812008105	
貧困・格差問題特論	4	講義			△	◆	◇	812009105	
社会福祉法制度特論	4	講義			△	◆	◇	812001105	
保健医療福祉特論	4	講義			△	◆	◇	812012105	
児童福祉特論	4	講義			△	◆	◇	812003105	
地域福祉特論	4	講義			△	◆	◇	812013105	
統計法特論	2	講義			△	◆	◇	812006105	
倫理と社会福祉	2	講義			△	◆	◇	812007105	
ソーシャルワーク特論	4	講義			△	◆	◇	812010105	
障害者（児）福祉特論	2	講義			△	◆	◇	812011105	

## 社会福祉学専攻（臨床心理学領域）（修士課程）

## 修了所要単位

社会福祉学専攻臨床心理学領域	必修	合計
	42単位	42単位

左記42単位の他に修士論文を作成しなければならない

## 修了所要科目一覧

科目名	単位	講義形態	履修区分			履修年次		ナンバリング	履修条件および履修上の注意
			必修	選択必修	選択	1	2		
神経心理学特論	2	講義	○			◆	◇	821015115	
統計法特論	2	講義	○			◆	◇	812006105	
投映法特論	2	講義	○			◆	◇	821025105	
心理的アセスメントに関する理論と実践	2	講義	○			◆	◇	821006115	
心理支援に関する理論と実践	2	講義	○			◆	◇	821007105	
心の健康教育に関する理論と実践	2	講義	○			◆	◇	821008105	
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2	講義	○			◆	◇	821009105	
教育分野に関する理論と支援の展開	2	講義	○			◆	◇	821010105	隔年開講
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	講義	○			◆	◇	821011105	
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	2	講義	○			◆	◇	821012105	
保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	講義	○			◆	◇	821013105	
福祉分野に関する理論と支援の展開	2	講義	○			◆	◇	821014105	
心理実践実習Ⅰ	2	演習	○			◆		821016115	
心理実践実習Ⅱ	1	演習	○			◆		821017116	2コマ連続授業
心理実践実習Ⅲ	1	演習	○			◆		821018115	2コマ連続授業
心理実践実習Ⅳ	2	演習	○				◆	821019116	
心理実践実習Ⅴ	1	演習	○				◆	821020116	2コマ連続授業 心理実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修得済みの者のみ履修可
心理実践実習Ⅵ	1	演習	○				◆	821021116	2コマ連続授業 心理実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修得済みの者のみ履修可
心理実践実習Ⅶ	2	演習	○			◆		821022115	
心理実践実習Ⅷ	2	演習	○				◆	821023116	心理実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修得済みの者のみ履修可
心理実践実習Ⅸ	2	演習	○				◆	821024116	心理実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修得済みの者のみ履修可
臨床心理学演習	2	演習	○			◆		821001115	
臨床心理学研究指導Ⅰ	2	演習	○				◆	821002116	